



JASDAQ

2011年9月12日

各 位

会 社 名 イオン九州株式会社
代表者名 代表取締役社長 岡 澤 正 章
(J A S D A Q ・ コード番号 2 6 5 3)
問合せ先
役職・氏名 取締役 経営管理本部長
福 本 剛 史
電話 0 9 2 - 4 4 1 - 0 6 1 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2011年4月5日に公表しました2012年2月期第2四半期(累計)(2011年2月21日～2011年8月20日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 2012年2月期 第2四半期(累計)業績予想の修正(2011年2月21日～2011年8月20日)

(単位:百万円)

	営 業 収 益	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想(A)	127,350	100	30	950	50円62銭
今回修正(B)	122,750	150	210	880	46円89銭
増減額(B-A)	4,600	50	240	70	
増減率	3.6%	50.0%	-	-	
(参考)前期第2四半期実績 (2011年2月期第2四半期)	125,032	141	304	436	23円26銭

2. 業績予想の修正理由

第2四半期累計期間は、機能性インナーの「トップバリュ クーリッシュファクト」や省エネ関連商品など好調に推移した商品があったものの、東日本大震災の影響による消費マインドの冷え込みや、急速な円高の進行などによる景気の先行き不透明感からくる個人消費の低迷により売上が伸び悩みました。

しかしながら、在庫削減による商品の活性化や売価変更の削減に継続的に取り組んだことにより、売上総利益率は計画した率を確保できる見込みであるとともに、ローコスト経営の推進による経費削減で、営業利益・経常利益は公表を上回り黒字化できる見込みです。

このような状況により、第2四半期累計期間の業績予想は、営業収益は1,227億50百万円、営業利益は1億50百万円、経常利益は2億10百万円、四半期純利益は資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う影響額6億12百万円の計上などにより、8億80百万円の損失となる見込みです。

なお、通期の業績予想につきましては、今後も景気の先行き不透明から個人消費の伸び悩みが予想されますが、2011年4月5日に公表しました業績予想を変更いたしません。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づき算出した値ですので、実際の決算とは異なる可能性があります。

以 上